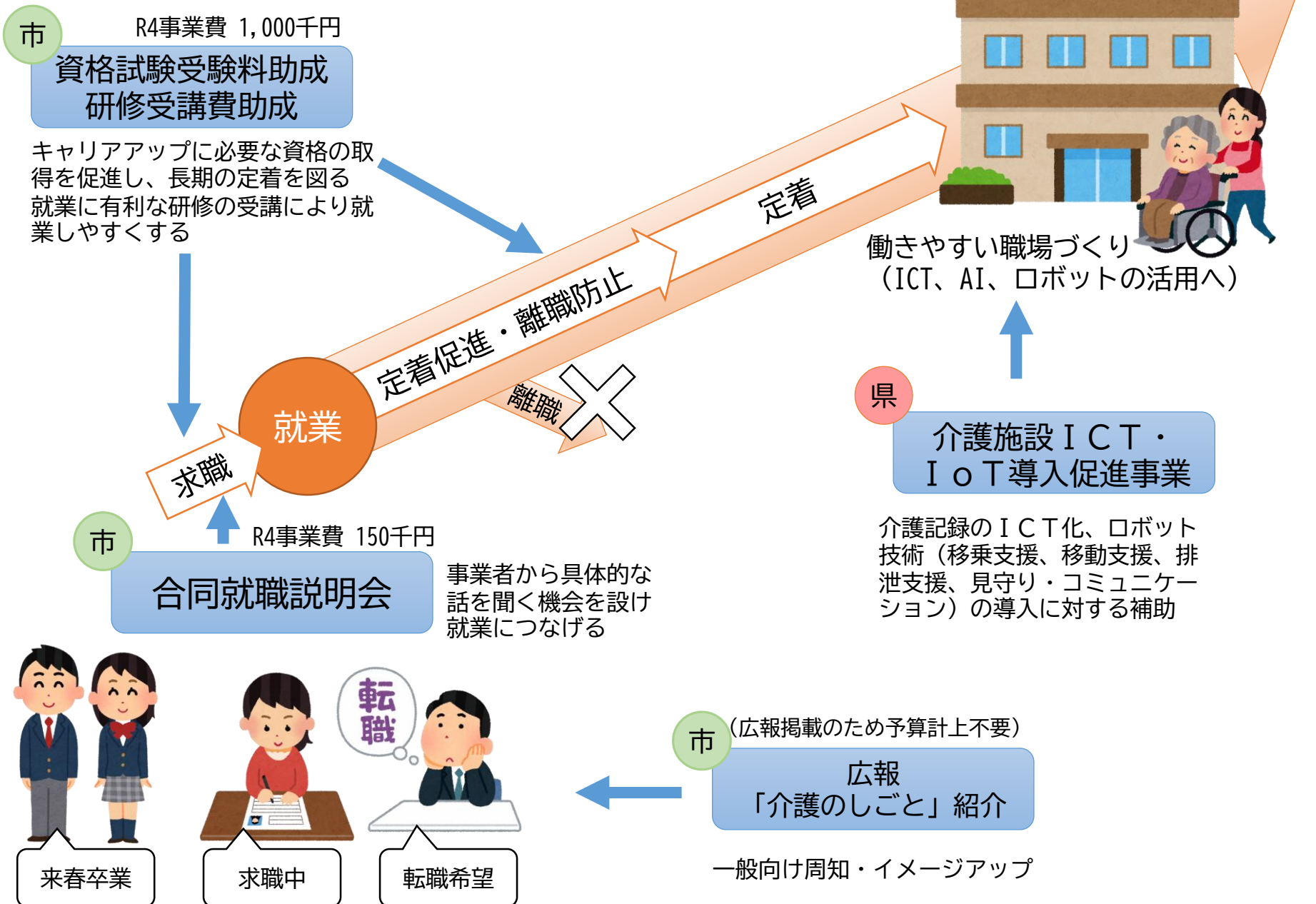


高齢者分科会

介護人材確保に向けた取組み



地域密着型サービスの整備①

【募集期間】 令和4年6月28日（火）～令和4年7月29日（金）

【事業者の選定方法】

応募のあった事業者について、書類審査、実地調査及びヒアリングを行い、総合的に評価し、加賀市長が選定します。

【小規模多機能型居宅介護事業所】

・趣旨

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためのサービス基盤の整備について、高齢者の状態や希望に応じて「通い」「泊まり」、自宅への「訪問」といったサービスを柔軟に組み合わせて提供する事業所の設置を図ることを目的とする。

・整備箇所数

山中圏域（河南地区）で1カ所

・募集要件

- ① 整備主体は、原則として介護保険事業又は医療・福祉事業の運営の実績・経験のある法人であること。
- ② サテライト型の場合は本体とする事業所と同一又は隣接圏域内であって概ね20分以内の距離にあること。
- ③ 整備事業所には介護予防拠点を併設整備すること。
など

【認知症対応型共同生活介護事業所】

・趣旨

認知症の高齢者が共同生活を営むべき住居において、入浴、排泄、食事などの介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を提供する事業所の設置を図ることを目的とする。

・整備箇所数

全圏域で1カ所

・募集要件

- ① 整備主体は、原則として介護保険事業又は医療・福祉事業の運営の実績・経験のある法人であること。
など

地域密着型サービスの整備② (小規模多機能型居宅介護事業所)



加賀市山中温泉長谷田町リ382番地

<施設概要>

- 運営事業者（代表者）：社会福祉法人 萌和会（理事長 鈴木 一（すずき はじめ））
- 施設住所：加賀市山中温泉長谷田町リ382番地
- サービス種別：小規模多機能型居宅介護事業所
- 定員、宿泊：定員18人、宿泊4人
- 整備内容：創設（開設）
- スケジュール：令和5年4月1日頃開設予定
- 施設に関する補足：隣接敷地で認知症高齢者グループホームを運営予定。また、介護予防拠点を併設予定。

地域密着型サービスの整備③ (認知症高齢者グループホーム)



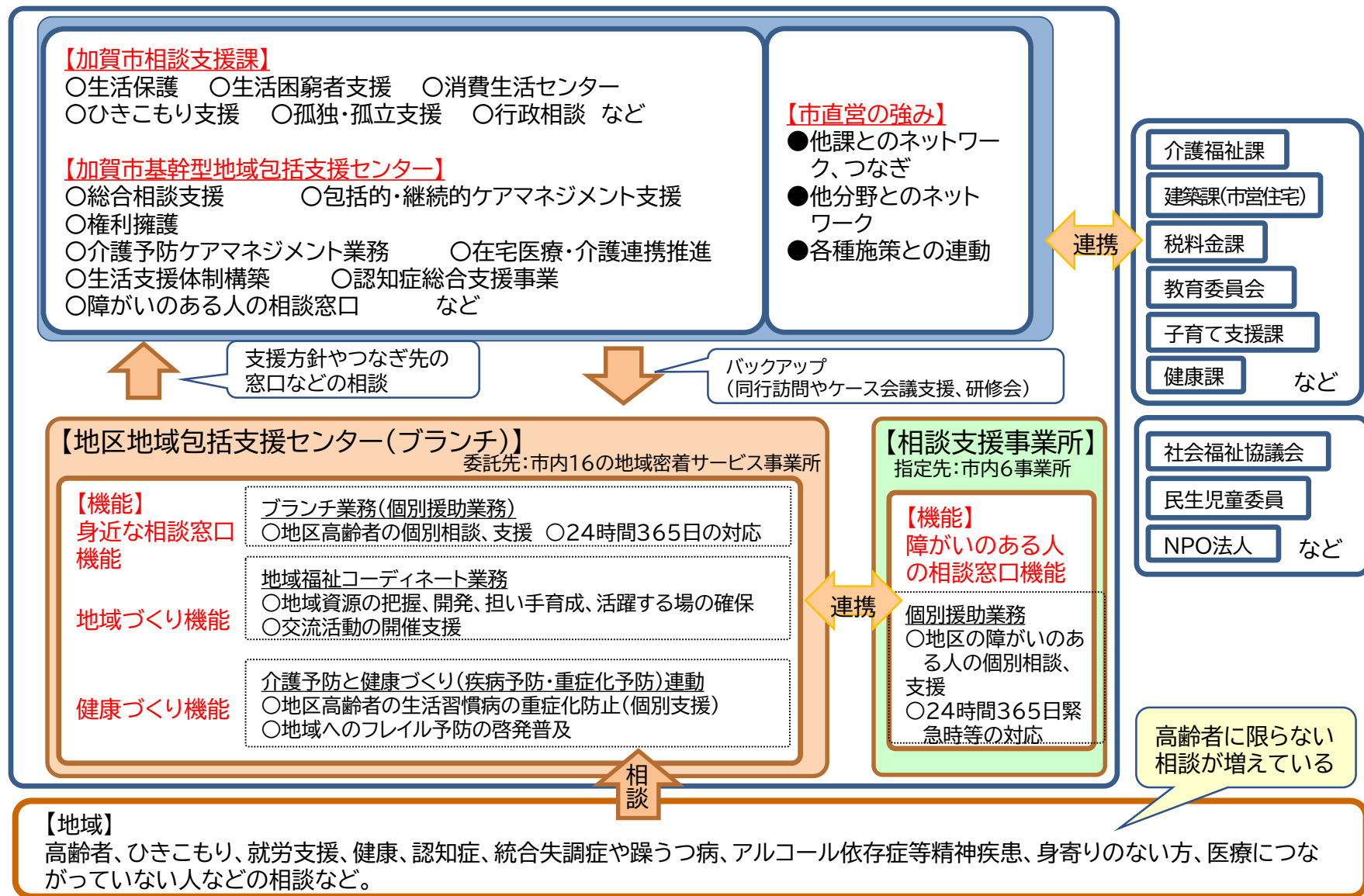
加賀市山中温泉長谷田町リ386番地

<施設概要>

- 運営事業者（代表者）：医療法人 萌和会（理事長 鈴木 一（すずき はじめ））
- 施設住所：加賀市山中温泉長谷田町リ386番地
- サービス種別：認知症対応型共同生活介護事業所
- 定員：定員18人
- 整備内容：創設（開設）
- スケジュール：令和5年4月1日頃開設予定
- 施設に関する補足：隣接敷地で小規模多機能型居宅介護事業所を運営予定。

令和4年度 加賀市地域包括支援センターの運営について

地区地域包括支援センター(ブランチ)及び相談支援事業所が核となり、地域住民と一体的に考え、取り組む体制を市の相談支援課がバックアップする体制を強化



第8期高齢者お達者プランの取り組み

介護保険事業計画・高齢者福祉計画 第8期（令和3年度～令和5年度）

重点的課題	方向性
1. 重症化予防の推進	○認定時の主要疾患（認知症、脳卒中、骨折、悪性新生物、筋骨格系疾患）の予防 ○生活習慣病の予防（特に脳卒中や認知症にも関係のある糖尿病や高血圧の予防） ⇒健康課との連携や介護予防事業の充実 ⇒高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の継続及び実施圏域の拡充 ○オンライン「通いの場」アプリの活用による介護予防事業の推進 ○介護予防基本チェックリスト3年未返信、3年未把握者への生活状況確認の継続
2. 住民の社会参加促進による 支えあい、助け合いの地域 づくり	「地域でつながることも予防」と言われ、社会とのつながりがあることが予防の1つであることから、 ○元気高齢者の活躍の場づくりや担い手育成 ○地域ケア会議を活かした地域づくりへの展開（ランチによる地域福祉コーディネート）
3. 認知症の人とその家族を支 える仕組みづくりの推進	○認知症予防の取り組み（もの忘れ健診の実施、加賀市版脳活性化プログラムの実施） ○認知症キャラバン・メイトや認知症サポーターと認知症の正しい理解の普及などの実施 ○認知症ケアパス改訂版の作成及び啓発普及
4. 状態が変化しても対応でき る柔軟な支援体制の構築	○在宅医療や人生をどう迎えたいか等の住民への啓発普及 ○在宅医療コーディネーターによる医療と介護の連携強化
5. 本人本位の視点を重視した 人材の確保や育成	○認知症対応力向上研修の継続実施 ○生活視点に立った自立支援のケアマネジメントの強化及び推進（軒下マップの活用） 目標設定会議（個別地域ケア会議）の継続実施

第9期高齢者お達者プラン策定に向けた調査

第9期（令和6年度～令和8年度）

超高齢社会に関する市民意識調査	健康とくらしの調査
《概要》 高齢者お達者プラン（第9期・令和6～8年度）の策定にあたり、住み慣れた地域で暮らし続けるための課題、支援内容等の実態把握及び市民の意識調査を実施 ・調査対象者 市内の60歳以上の人5,000人 （要介護・要支援・事業対象者は除く） ・調査方法 郵送調査 ・実施時期 9月21日発送（回収締日10月7日）	《概要》 一般社団法人日本老年学評価研究機構（JAGES）の実施するアンケート調査、健診データなどにより要介護リスク分析・リスク者分布分析、要介護・健康長寿の要因分析、介護予防事業の効果評価などを行う。全国66余り（令和3年4月時点）の自治体に参加を予定しており他自治体との比較分析が可能。 ・調査対象者 市内の65歳以上の人3,000人 （要介護・要支援・事業対象者は除く） ・調査方法 郵送調査→関係データをあわせて分析 ・実施時期 11月7日発送（回収締日11月28日）

※両調査の対象者は重複しないよう抽出